

施策評価調書(1)

評価対象年度 令和5年度

めざす姿	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”
施策名	3 市民が自己実現をめざせる環境づくり
施策関係課	(市民生活部)文化推進室／(教育総務部)生涯学習課・中央図書館・科学館・スポーツ課

●施策の基本方針(目標)
自己実現をめざす市民の多様な学習・活動意欲の高まりに対応するため、さまざまな支援を行い、一人ひとりの個性や魅力を伸ばす環境をつくります。

●目標指標							
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:Ⅱ－3)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)	現状値	34.4(令和2年度)		指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	32.200	33.400	32.000	0.000		
指標②	名称	生涯学習施設の利用者数				単位	人
	目標値	6,559,586(令和7年度)	現状値	6,202,448(令和元年度)	指標の種別	結果	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	4,419,145.000	4,989,558.000	5,277,156.000	0.000		
指標③	名称					単位	
	目標値		現状値		指標の種別		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標④	名称					単位	
	目標値		現状値		指標の種別		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値		現状値		指標の種別		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度予算額	令和7年度計画額
	事業費	1,827,446	2,032,939	2,170,069	2,070,041	2,674,801
	概算人件費	718,632	699,018	741,910	766,692	766,692
	総事業費	2,546,078	2,731,957	2,911,979	2,836,733	3,441,493

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	A	単位施策① 55	単位施策② 55	単位施策③ 57	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			55.7	

施策評価調書(2)

評価対象年度 令和5年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 生涯学習活動の支援								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (予算額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和5年度の 総評価	令和6年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
社会教育活動運営事業	教育総務部 生涯学習課	2,114	2,116	1,940	2,299	2,236	56	現状維持で実施
		395	385	395	405	405		
社会教育団体補助事業	教育総務部 生涯学習課	407	430	282	1,145	1,145	46	現状維持で実施
		158	154	158	162	162		
市民大学事業	教育総務部 生涯学習課	1,843	3,222	3,054	3,570	3,560	56	現状維持で実施
		4,740	4,620	4,740	4,860	4,860		
公民館施設運営費	教育総務部 生涯学習課	82,099	108,571	109,611	108,958	108,958	52	現状維持で実施
		260,700	254,100	260,700	267,300	267,300		
中央ふれあい館施設運営費	教育総務部 生涯学習課	—	—	10,564	12,579	12,579	52	現状維持で実施
		—	—	31,805	33,375	33,375		
生涯学習プラザ施設運営費	教育総務部 生涯学習課	2,091	2,823	3,163	3,233	3,233	56	現状維持で実施
		19,500	19,100	15,800	16,200	16,200		
文化会館施設運営費	教育総務部 生涯学習課	6,894	8,011	9,612	8,027	8,027	51	拡充して実施
		31,100	30,500	31,100	32,100	32,100		
図書館施設運営費	教育総務部 中央図書館	525,286	519,762	515,437	523,199	639,033	58	現状維持で実施
		276,500	269,500	276,500	283,500	283,500		
映像・情報メディアセンター指定管理者管理運営費	教育総務部 中央図書館	49,296	49,296	49,296	51,635	51,635	54	現状維持で実施
		2,765	2,618	2,686	1,944	1,944		
科学展示施設運営費	教育総務部 科学館	42,502	43,402	43,627	43,734	43,734	56	現状維持で実施
		17,459	17,017	17,617	18,711	18,711		
天文台施設運営費	教育総務部 科学館	465	533	544	577	577	56	現状維持で実施
		11,929	10,549	10,665	9,072	9,072		
プラネタリウム施設運営費	教育総務部 科学館	16,529	15,896	16,802	16,386	16,386	58	現状維持で実施
		13,509	13,167	12,324	9,882	9,882		
特別企画事業費	教育総務部 科学館	6,743	6,841	7,625	7,822	7,822	58	現状維持で実施
		7,268	7,623	7,663	6,642	6,642		

単位施策名 ② スポーツ・レクリエーション活動の支援								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (予算額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和5年度の 総評価	令和6年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付事業	教育総務部 スポーツ課	1,200	843	1,100	1,500	1,500	54	現状維持で実施
		632	462	553	567	567		
体育施設維持補修費	教育総務部 スポーツ課	66,332	56,417	54,296	56,733	56,733	58	現状維持で実施
		8,295	2,695	2,370	4,455	4,455		
体育施設整備費	教育総務部 スポーツ課	111,324	219,034	209,456	476,240	476,240	58	現状維持で実施
		2,449	3,465	3,160	2,835	2,835		
スポーツ推進審議会事業	教育総務部 スポーツ課	168	223	177	208	208	58	現状維持で実施
		1,185	770	1,580	2,025	2,025		
中学校・高等学校運動指導者派遣事業	教育総務部 スポーツ課	1,286	1,593	1,774	2,523	2,523	56	拡充して実施
		632	539	553	567	567		
各種体育大会開催事業	教育総務部 スポーツ課	296	339	393	501	501	54	現状維持で実施
		2,765	2,310	2,370	2,430	2,430		

単位施策名 ② スポーツ・レクリエーション活動の支援								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (予算額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和5年度の 総評価	令和6年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
体育関係表彰事業	教育総務部 スポーツ課	329	644	621	727	727	50	現状維持で実施
		2,765	2,926	2,844	2,916	2,916		
ソーデーマーチ実行委員会交付金	教育総務部 スポーツ課	250	1,978	1,978	1,978	1,978	52	現状維持で実施
		6,960	4,620	4,740	4,860	4,860		
学校体育協会事業	教育総務部 スポーツ課	2,323	2,823	2,823	2,823	2,823	56	現状維持で実施
		5,293	6,160	5,056	5,184	5,184		
スポーツ協会事業	教育総務部 スポーツ課	41,921	53,312	61,063	61,064	61,064	56	現状維持で実施
		2,370	2,310	3,002	3,078	3,078		
スポーツ推進委員協議会事業	教育総務部 スポーツ課	10,933	11,494	11,443	12,748	12,748	56	現状維持で実施
		4,740	5,005	4,977	5,103	5,103		
レクリエーション協会事業	教育総務部 スポーツ課	2,205	3,845	3,878	3,911	3,911	54	現状維持で実施
		4,898	4,697	4,977	5,103	5,103		
スポーツ少年団事業	教育総務部 スポーツ課	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	56	現状維持で実施
		5,293	4,928	4,977	5,103	5,103		
スポーツ推進補助事業	教育総務部 スポーツ課	14,117	15,557	15,823	16,927	16,927	54	現状維持で実施
		1,185	1,001	1,185	1,215	1,215		
青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費	教育総務部 スポーツ課	160,714	164,448	160,714	199,942	199,942	56	現状維持で実施
		2,449	3,311	3,160	3,240	3,240		
戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費	教育総務部 スポーツ課	140,406	140,406	164,823	176,000	176,000	58	現状維持で実施
		2,449	3,311	3,160	3,240	3,240		
スポーツ教室開催事業費	教育総務部 スポーツ課	1,158	1,222	1,336	1,203	1,203	54	現状維持で実施
		553	616	1,106	1,134	1,134		

単位施策名 ③ 文化芸術活動の支援								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (予算額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和5年度の 総評価	令和6年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
総合文化センター指定管理者管理運営費	市民生活部 文化推進室	519,600	579,400	627,072	194,103	682,825	58	現状維持で実施
		2,054	2,002	2,054	6,723	6,723		
アートギャラリー指定管理者管理運営費	市民生活部 文化推進室	—	—	63,319	59,000	59,000	56	現状維持で実施
		—	—	2,449	6,723	6,723		
市民コンサート事業	市民生活部 文化推進室	770	855	707	1,203	1,324	58	現状維持で実施
		2,212	2,156	1,896	1,134	1,134		
文化芸術体験事業	市民生活部 文化推進室	0	182	294	309	340	58	現状維持で実施
		0	2,464	316	324	324		
芸術賞賞賜事業	市民生活部 文化推進室	911	897	937	1,245	1,370	56	現状維持で実施
		2,054	2,156	1,580	1,620	1,620		
文化振興交付事業	市民生活部 文化推進室	11,834	13,424	11,385	12,889	12,889	54	現状維持で実施
		10,349	10,549	10,981	12,150	12,150		
文化団体補助事業	市民生活部 文化推進室	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	56	現状維持で実施
		1,027	1,232	711	810	810		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	社会教育活動運営事業			担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援				
根拠法令等	川口市社会教育委員設置条例／川口市公民館運営審議会条例／川口市立生涯学習プラザ運営審議会条例／川口市立中央ふれあい館運営審議会条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	社会教育委員、公民館運営審議会、生涯学習プラザ運営審議会、中央ふれあい館運営審議会		社会教育施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	本市社会教育の諸事業について、市民の意見を広く反映させるため、審議し意見助言をいただくものである。 また、公民館等の運営審議会については、地域住民の意見、要望等を十分に反映するため、館長の諮問機関として会議を実施する。		・社会教育委員会 ・公民館運営審議会 ・生涯学習プラザ運営審議会 ・中央ふれあい館運営審議会	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	社会教育委員会、公民館運営審議会、生涯学習プラザ運営審議会、中央ふれあい館運営審議会を開催した。		社会教育の諸事業・施設運営について審議し、委員をととして市民の意見を広く反映させることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	会議及び審議会の実施回数			指標・目標値の説明(算定式)	社会教育委員会及び公民館等運営審議会の開催回数			
	単位	回	指標の種別	活動					
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		36.00		36.00		36.00		36.00	
	実績値・達成状況	36.00	達成	36.00	達成	36.00	達成		0.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	1 目	2 細目	1 細々目	社会教育活動運営事業		
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		2,224				2,299		2,299		2,236	
決算額(B)=(C)+(D)		2,114				2,116		1,940			
財 源 ※	特定財源(C)	0				0		0			
	一般財源(D)	2,114				2,116		1,940		2,299	
概算人件費(E)		395				385		395		405	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		2,509				2,501		2,335		2,704	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	特になし。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	社会教育団体補助事業			担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	50	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	・川口市補助金等交付規則・川口市婦人団体連絡協議会補助金交付要綱・川口市PTA連合会補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・川口市PTA連合会 ・川口市婦人団体連絡協議会	・川口市で教育を受ける子供 ・婦人団体活動に関わる市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	川口市PTA連合会及び川口市婦人団体連絡協議会の運営事業費の一部を助成し、団体活動の充実・進展を図ることを目的とする。	川口市PTA連合会及び川口市婦人団体連絡協議会に対し、補助金を交付する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	各団体の運営費のうち、会議費・研修費等、事業にかかる経費の一部を助成した。	・市内各学校PTA相互の連携を深め、本市教育の向上の進展に寄与した。 ・市内婦人団体の育成、健全なる家庭生活の建設に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		10 款	6 項	1 目	2 細目	3 細々目	社会教育団体補助事業			
年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)			1,145		1,145		1,145		1,145		1,145		
決算額(B)=(C)+(D)			407		430		282						
財源※	特定財源(C)		0		0		0		0				
	一般財源(D)		407		430		282		1,145				
概算人件費(E)			158		154		158		162		162		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			565		584		440		1,307		1,307		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	11 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
46 ／60	補助金の適正な交付に努める。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	市民大学事業				担当	教育総務部	
						生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	19	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内在住・在勤・在学の18歳以上の方		市内在住・在勤・在学の18歳以上の方	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	生涯学習が進展する中で、市民の高度で多様な学習意欲に応える。 市民が「生きがいづくり」「自己実現」を達成し、より豊かで充実した人生を送ることに貢献する。		市内外の高等教育機関や公民館等の社会教育施設と協力し、文学・歴史・自然科学等の一般教養や専門的知識を学ぶ講義のほか、現代的課題等を取りあげる講座を開催する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	大学講師、川口市人材バンク魅学、川口市役所内の各課・所等に協力をいただき、歴史、環境、情報機器等広い分野について、対面・動画視聴といったオンライン講座で実施した。		歴史、環境、情報機器等多岐にわたる35講座、138回を実施し、市民の学習意欲に応えることを目的として実施し、動画視聴2講座8回のオンライン講座を実施した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市市民大学講座数			指標・目標値の説明(算定式)	35講座実施する				
	単位	講座	指標の種別	活動						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		36.00		35.00		35.00		35.00		0.00
	実績値・達成状況	33.00	未達成	36.00	達成	35.00	達成			
指標②	名称	受講生の満足度			指標・目標値の説明(算定式)	受講生アンケートにおいて、「とても満足」「満足」と回答した割合の平均値				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		80.00		85.00		85.00		85.00		0.00
	実績値・達成状況	85.00	達成	85.00	達成	85.00	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	1 目	4 細目	1 細々目	市民大学事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		2,226		3,877		3,645		3,570		3,560
決算額(B)=(C)+(D)		1,843		3,222		3,054				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		270		
	一般財源(D)	1,843		3,222		3,054		3,300		
概算人件費(E)		4,740		4,620		4,740		4,860		4,860
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.60	0.00	0.60	0.00	0.60	0.00	0.60 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,583		7,842		7,794		8,430		8,420

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	講座内容に新規性が乏しく専門性に欠けるため、講座内容の拡充等により、多種多様で専門性の高い講座を企画していきたい。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	公民館施設運営費			担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7654	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	社会教育法、川口市立公民館設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公民館利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	住民への学習機会の提供と多くの人々の新たな交流の場の提供を目的としている。	社会の要請や個人の要望に応えることができるよう、現代的課題を中心とした多種多様な講座の実施や、生涯各期にあわせた事業を展開している。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	市民に施設の貸出及び講座を実施した。	市民の一般的教養が向上し、公民館活動を通じて地域の活性化に繋がった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	年間教室開催件数				指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績の積み上げから設定したもの。					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		830.00		830.00		830.00		830.00		0.00		
	実績値・達成状況	373.00	未達成	628.00	未達成	958.00	達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		10 款	6 項	2 目	1 細目	1 細々目	公民館施設運営費			
年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)			82,355		123,431		111,022		108,958		108,958		
決算額(B)=(C)+(D)			82,099		108,571		109,611						
財源※	特定財源(C)		0		0		0		0				
	一般財源(D)		82,099		108,571		109,611		108,958				
概算人件費(E)			260,700		254,100		260,700		267,300		267,300		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	33.00	0.00	33.00	0.00	33.00	0.00	33.00	0.00	33.00	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			342,799		362,671		370,311		376,258		376,258		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 ／60	市民の学習ニーズは多様化しており、発展的な講座の企画、発信方法の検討など、より多くの市民に参加していただける魅力ある事業を実施する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	中央ふれあい館施設運営費			担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-222-2798	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援				
根拠法令等	川口市立中央ふれあい館設置及び管理条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	中央ふれあい館利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の自発的学習を奨励助長し、知識の習得及び技術の向上を目指す。特に高齢者については交流の場作りとする。	学習内容にふさわしい施設の提供及び市民のニーズに応じた講座を開催する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	高齢者向けに健康増進と維持につながる「若返り健康講座」や「終活ナビ」を、一般向けに川口について学ぶ「深掘り！かわぐちの歴史」、「そば打ち教室」、「手作り味噌教室」を、子ども向けに「子どもスポーツひろば」、「親子お菓子作り教室」、「子ども料理教室」などを実施した。	川口駅に近いという利便性もあり、また貸出可能な部屋数も多く、多数の方が利用したことで、市民の生涯学習活動の支援に寄与することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用者数(中央ふれあい館)			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績に基づき算定			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		—		—		200,000.00		200,000.00	
	実績値・達成状況	—	—	—	—	154,724.00	未達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	3 目	1 細目	1 細々目	中央ふれあい館施設運営費		
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)	8,938	12,688		12,455		12,579		12,579	
決算額(B)=(C)+(D)	8,506	11,976		10,564					
財源※	特定財源(C)	0		0		0			
	一般財源(D)	8,506		11,976		10,564		12,579	
概算人件費(E)		31,385		31,145		31,805		33,375	
従事職員人数(人)		常勤	再任用	3.20	1.65	3.30	1.55	3.30	1.55
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		39,891		43,121		42,369		45,954	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 ／60	感染対策を行いながら、計画していた講座をほぼ実施することが出来た。今後も施設の良好な維持管理を継続するとともに、地域の多様化するニーズを速やかに把握し、事業内容に反映できるよう、講座開催方法の検討・改善に努めていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	生涯学習プラザ施設運営費			担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	253-1444	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	45	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立生涯学習プラザ設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	生涯学習プラザ利用者		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民へ生涯にわたる学習の機会を提供し、市民相互の学び合い及び交流を促進することにより、生涯学習活動の振興を図るとともに、福祉の増進に寄与することを目的とする。		現代的・社会的課題への対応として、環境教育・消費者教育及び高齢者教育等の事業の実施の他に、子育て支援や趣味・教養の事業の充実を図る。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	赤ちゃんと一緒にふれあいセミナー 子育てホットサロン 親子パン作り教室 はじめての漢方と薬膳講座 手作りみそ教室 親子料理教室		新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、自然科学の講座や子育て支援の講座を実施した。市民へ学習の機会を提供し、生涯学習活動の支援に寄与することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用者数(生涯学習プラザ)			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績に基づき算定			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		25,000.00		25,000.00		25,000.00		25,000.00	
	実績値・達成状況	37,039.00	達成	48,918.00	達成	57,094.00	達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	4 目	1 細目	1 細々目	生涯学習プラザ施設運営費	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		3,379		3,102		3,172		3,233		3,233
決算額(B)=(C)+(D)		2,091		2,823		3,163				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	2,091		2,823		3,163		3,233		
概算人件費(E)		19,500		19,100		15,800		16,200		16,200
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	1.00	2.00	1.00	2.00	0.00	2.00 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	21,591		21,923		18,963		19,433		19,433

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	令和5年度も感染予防対策を行いながら事業を実施することができた。今後についても事業を行う中で感染予防対策をしっかりと行い、多様化するニーズの把握に努め、施設の特性に応じて事業を実施する。また、施設も供用開始から5年を経過したことから、不具合がないよう引き続き施設の維持管理に努める。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	文化会館施設運営費				担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-3612	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立南平文化会館設置及び管理条例・川口市立南平文化会館管理規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営			
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)			
	市内在住・在勤者、および利用者			同左			
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	市民の芸術文化の向上と福祉の増進を図ることを目的とする。			音楽会、講演会などの主催および共催事業の実施。 ①おかあさんコーラスの集い ②秋のタベコンサート			
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】			
	①お母さんコーラスの集い 市内で活動する女性コーラス団体を招き、発表会を実施した。 ②秋のタベコンサート 様々な演奏家を招いてコンサートを開催し、来場者に多彩なジャンルの音楽に触れてもらった。			①既に文化活動に参加している市民に発表の場を設けて意欲の高揚を促すと共に、一般来場者が観覧することで新たな活動参加者の掘り起しに寄与した。 ②多様なジャンルの音楽をタベのひとときにまとめて、しかも無料で観覧できるというアクセスのしやすいコンサートを開催したことで、来場者にとって新たな音楽との出会いを促進できた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	自主事業における年間利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	自主事業における会場収容人数の上限をもとに設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		1,220.00		1,220.00		1,220.00		1,220.00		0.00
	実績値・達成状況	0.00	未達成	103.00	未達成	277.00	未達成			
指標②	名称	貸館事業における年間利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去5年間の平均実績をもとに設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		55,000.00		55,000.00		55,000.00		55,000.00		0.00
	実績値・達成状況	19,278.00	未達成	26,800.00	未達成	29,662.00	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	5 目	1 細目	1 細々目	文化会館施設運営費		
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		7,804		9,068		9,692		8,027		8,027	
決算額(B)=(C)+(D)		6,894		8,011		9,612					
財 源 ※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	6,894		8,011		9,612		8,027			
概算人件費(E)		31,100		30,500		31,100		32,100		32,100	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.00	2.00	3.00	2.00	3.00	2.00	3.00	2.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		37,994		38,511		40,712		40,127		40,127	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	12 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	足りなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
51 ／60	従来より続けている事業と、令和5年度より実施した事業の取り合わせとなった。前者については関係団体の高齢化など事業を継続するための方策を、後者については初回の反省点を活かしてさらなる充実を図る過渡期であると考えられる。				翌年度	拡充して実施
					翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	図書館施設運営費				担当	教育総務部 中央図書館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-227-7613	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立図書館設置及び管理条例、川口市立図書館管理規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	全市民(施設利用者)		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市民の知的自由を支え、知的欲求に応えるためのサービスを提供することで、生涯学習を支援する。		生涯学習の重要な拠点施設として、質の高いサービスを提供し、生涯学習の充実を支援する。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	・電子図書を含む図書館資料の選書・貸出・調査相談サービス、各種企画展示や子ども向けのおはなし会等のイベント、学校との連携事業としての出張ブックトーク等の実施 ・図書館未設置地区に移動図書館車の巡回、来館困難者への「宅配サービス」、視覚障害者への対面朗読、点字・音声資料の貸出を実施		・総貸出点数:2,844,537点(内電子図書13,220点) ・宅配サービス利用者数:156人 ・視覚障害者サービス貸出利用者数:1,032人 ・対面朗読利用回数:65回 成果として、個人の生活を豊かにし、社会の一員としての能力を高めるという生涯学習の充実に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	入館者数(図書館)				指標・目標値の説明(算定式)	指標:中央・前川・新郷・横曽根・戸塚・鳩ヶ谷図書館及び芝園分室の入館者数。					
	単位	人	指標の種別	結果	目標値:平準的な開館日数である直近年度の実績を参考に決定							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		1,744,581.00		1,730,007.00		1,715,680.00		1,701,596.00		1,687,752.00		
	実績値・達成状況	1,380,848.00	未達成	1,405,480.00	未達成	1,461,946.00	未達成					
指標②	名称	おはなし会参加人数				指標・目標値の説明(算定式)	指標:おはなし会、夏休みおはなし会、クリスマスおはなし会、わらべうたの会の参加者数。 目標値:前年度の実績を参考に決定					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		6,800.00		6,800.00		6,800.00		6,800.00		0.00		
	実績値・達成状況	899.00	未達成	2,917.00	未達成	4,295.00	未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	6 目	2 細目	1 細々目	図書館施設運営費	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		528,395		522,209		516,236		523,199		639,033
決算額(B)=(C)+(D)		525,286		519,762		515,437				
財源※	特定財源(C)	109,127		49,576		103,305		103,665		
	一般財源(D)	416,159		470,186		412,132		419,534		
概算人件費(E)		276,500		269,500		276,500		283,500		283,500
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	35.00	0.00	35.00	0.00	35.00	0.00	35.00
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		801,786		789,262		791,937		806,699		922,533

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	図書館において基本である図書資料(電子図書含む)の充実に努めていき、子どもの読書活動の更なる推進のため、おはなし会やわらべうたと絵本の会等の参加者を増やすべく、開催曜日の変更や参加者対象年齢の拡大、周知方法等について見直しを図っていく。また、利用者の利便性の向上のため座席数の増加についても検討していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	映像・情報メディアセンター指定管理者管理運営費			担当	教育総務部 中央図書館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-227-7613	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 元 年度 ～ 令和 10 年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立映像・情報メディアセンター設置及び管理条例 等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	映像・情報メディアセンターを管理運営する指定管理者	全市民(施設利用者)	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	多様な住民ニーズに広く対応するため、指定管理者による柔軟かつ総合的な施設運営及びメディアコンテンツを通じた事業等を行い、住民サービスの向上を図ることを目的とする。	映像・情報メディアセンター各種施設の利用提供及び指定管理者が費用等を負担して自らが企画する自主事業を実施する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・各種ワークショップ・イベント、企画展示などのサービス業務を積極的に実施 ・リモートワーク、読書・学習用「ワーキングスペース」の貸出(令和2年度から実施) ・ホームページリニューアルに伴い、Webでの施設予約システムを導入	活動結果としてワークショップ・イベントに11,902人、企画展示に14,978人の参加があった。また、令和2年10月よりオープンした「ワーキングスペース」を継続し、テレワークの支援と住民等のニーズに即したサービスを引き続き実施した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:メディアセンターに来館した人数 目標値:過去の実績を参考に決定			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
		120,000.00	120,000.00	120,000.00	120,000.00	0.00			
	実績値・達成状況	44,323.00	未達成	70,492.00	未達成	85,062.00	未達成		
指標②	名称	貸出施設利用件数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:各種スタジオ(貸館用)の利用件数 目標値:過去の実績を参考に決定			
	単位	件	指標の種別	結果					
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
		3,300.00	3,300.00	3,300.00	3,300.00	0.00			
	実績値・達成状況	2,560.00	未達成	3,598.00	達成	3,435.00	達成		

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	7 目	1 細目	1 細々目	映像・情報メディアセンター指定管理者管理運営費		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
予算額(A)	49,297	49,297	49,297	51,635	51,635				
決算額(B)=(C)+(D)	49,296	49,296	49,296						
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0				
	一般財源(D)	49,296	49,296	49,296	51,635				
概算人件費(E)	2,765	2,618	2,686	1,944	1,944				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.35	0.00	0.34	0.00	0.34	0.00	0.24
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	52,061	51,914	51,982	53,579	53,579				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策			今後の実施方向性	
54 ／60	課題は施設稼働率の向上及び、収益の増加を図ること。改善策として、効果的な広報活動を行うなどして施設の知名度の向上を図り、魅力ある事業を実施する。			翌年度	現状維持で実施
				翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	科学展示施設運営費			担当	教育総務部	
					科学館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	262-8431	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	科学展示施設利用者、館外事業(科学出張教室、講師派遣)参加者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	参加体験型の展示物を有効に活用するとともに、各種事業を開催することにより、利用者の科学に対する興味関心を高める。	実験ショー、科学体験教室、科学出張教室、講師派遣における理科指導などの実施 展示解説・受付案内・各種事業補助のインストラクター業務の委託		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】		
	科学の原理を学びながら体験ができる「サイエンスショー」、身近な物でおもちゃを作る「わくわくワーク」、テーマのあるものづくり・実験・観察を行う「どきどきサイエンス(インストラクター委託事業)」及び科学ものづくり教室・夏休み科学教室等各種講座の開催、商業施設や学校での出張教室、学校に出向き授業を行う講師派遣等を行った。	様々な事業・講座を活用し、科学の原理原則を参加者が楽しみながら学ぶことができた。館内事業のわくわくワーク・どきどきサイエンス後には、作ったおもちゃで遊ぶ様子やアクセサリ等を身につける様子から科学に対する興味関心が高まった。館外事業では、学校における学力向上の一環及び理科好きの児童生徒の育成として効果的に活用された。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	科学展示施設入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度の目標値78,891人に向けて設定			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度
		75,811.00		76,570.00		77,336.00		78,110.00	78,891.00
	実績値・達成状況	55,031.00	未達成	77,408.00	達成	76,756.00	未達成		
指標②	名称	館外事業参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度の目標値9,082人に向けて設定			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度
		8,727.00		8,815.00		8,903.00		8,992.00	9,082.00
	実績値・達成状況	3,320.00	未達成	5,873.00	未達成	7,814.00	未達成		

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	9 目	2 細目	1 細々目	科学展示施設運営費	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		42,635		43,473		43,707		43,734		43,734
決算額(B)=(C)+(D)		42,502		43,402		43,627				
財源※	特定財源(C)	6,120		8,072		8,576		8,052		
	一般財源(D)	36,382		35,330		35,051		35,682		
概算人件費(E)		17,459		17,017		17,617		18,711		18,711
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.21	0.00	2.21	0.00	2.23	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		59,961		60,419		61,244		62,445		62,445

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	各講座においては、毎回定員を超える応募があり、抽選を行うなど好評を得ることができた。一方、今後の課題及び改善方策としては、目標値を達成することができなかった入場者数や館外事業参加者数を増やすために、学校への広報のデジタル化等、事業の周知方法を工夫し推進を図っていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	天文台施設運営費			担当	教育総務部 科学館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	262-8431	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	科学館利用者、観測会参加者、出張事業参加者、関係機関		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	本物の天体を実際に観測・体験することで、深い興味と感動を覚え、科学的なものの見方や考え方を身につける。		第2、第4土曜日に天文台で実施する夜間観測会。 太陽観測を中心に3つの天文台を案内する天文台ガイドツアー。 天文現象等に合わせて実施する特別観測会。 小中学校等に出張し太陽観測、天体観望会を行う出張事業。 天文台で撮影した天体の画像をリアルタイムに配信する夜間天体ライブ配信。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	夜間観測会を13日(1日2回で合計26回)実施し、天文台ガイドツアーを42回開催。特別観測会を8月～10月に3回実施。太陽観測出張授業を7校で開催。天体画像(金星)のライブ配信を2回実施した。		特別観測会は、天文現象に合わせて土星や月の観測会の機会をとらえ3回開催し、年齢を問わず多くの方々に天体観測の機会を提供することができた。また、天文台周辺機器の更改により、太陽望遠鏡で今後も長期継続した観測が可能となり、より鮮明なリアルタイム画像を太陽情報モニターやホームページに配信することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	天文台公開参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	天文台利用者及び観測授業参加者数。令和7年度の目標値1, 379人に向けて設定。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		1,325.00		1,338.00		1,351.00		1,365.00		1,379.00
	実績値・達成状況	660.00	未達成	1,776.00	達成	1,488.00	達成			
指標②	名称	太陽観測出張授業参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度の目標値1, 386人に向けて設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		1,333.00		1,346.00		1,359.00		1,372.00		1,386.00
	実績値・達成状況	351.00	未達成	300.00	未達成	618.00	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		10 款	6 項	9 目	2 細目	2 細々目	天文台施設運営費			
年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)			674		612		566		577		577		
決算額(B)=(C)+(D)			465		533		544						
財 源 ※	特定財源(C)		0		0		0		0				
	一般財源(D)		465		533		544		577				
概算人件費(E)			11,929		10,549		10,665		9,072		9,072		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.51	0.00	1.37	0.00	1.35	0.00	1.12	0.00	1.12	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			12,394		11,082		11,209		9,649		9,649		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	屋上天文台での夜間観測会は、悪天候の場合は中止しているが、観測は困難でも雨天以外 は実施可能とし、参加者に有意義な時間を過ごしていただけるような事業企画を今後検討する。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	プラネタリウム施設運営費			担当	教育総務部 科学館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	262-8431	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	プラネタリウム施設利用者		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	天候や時間帯に左右されずに、星を観て、星の探し方・動きの規則性・法則などを効果的に学び、天文学の普及、科学全般に対する興味関心を高める。		当日の星空解説、天文トピックスの紹介と番組の投影を行う一般投影。子ども(小学校低学年)向けに星空解説を行うキッズアワー。小中学校の授業の一環として行う投影や保育所等の幼児対象の投影を行う学習投影。季節のイベントに合わせた特別投影「七夕・クリスマス・星空リラクゼーション」。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	一般投影は木・土・日曜・祝日と夏・冬・春休み期間に453回実施。日曜・祝日にキッズアワーを63回実施。学習投影や幼児投影を118回実施。特別投影「七夕・クリスマス・星空リラクゼーション」を8回実施し、天文講演会を2月下旬に実施した。		星空解説は専門職員による生解説を行うことで、星や宇宙に対する興味・関心を高め、番組は季節ごとにテーマを絞り、天文に関する内容を楽しみながら学ぶ機会になった。また、学習投影では星や宇宙に対する理解が深まった。特別投影及び天文講演会は、前年実績を上回る観覧者数となり、大変好評な事業となった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	プラネタリウム観覧者数			指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度目標値36,655人に向けて設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		35,226.00		35,578.00		35,934.00		36,293.00		36,655.00
	実績値・達成状況	25,962.00	未達成	39,488.00	達成	37,723.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	9 目	2 細目	3 細々目	プラネタリウム施設運営費	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		16,629		16,174		16,848		16,386		16,386
決算額(B)=(C)+(D)		16,529		15,896		16,802				
財源※	特定財源(C)	5,159		8,161		8,103		7,889		
	一般財源(D)	11,370		7,735		8,699		8,497		
概算人件費(E)		13,509		13,167		12,324		9,882		9,882
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.71	0.00	1.71	0.00	1.56	0.00	1.22
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		30,038		29,063		29,126		26,268		26,268

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策			今後の実施方向性	
58 ／60	プラネタリウム機器は経年により、機器の一部は保守部品の調達が難しくなりつつある。現機種は平成25年に導入後、既に10年が経過していることから、機器の故障による停止を防ぎ、安定的な事業運営を維持すると同時に、魅力あるプラネタリウム演出とするために、計画的に機器の更新準備に取り掛かる必要がある。			翌年度	現状維持で実施
				翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	特別企画事業費			担当	教育総務部 科学館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	262-8431	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	科学展示施設利用者、市内小・中・高校生		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	常設展示物にはない分野から、1つのテーマを魅力的・専門的に掘り下げる特別展を開催することで、常設展示物とは別の視点から科学に親しむ機会を提供する。また、幅広い年代を対象とした専門性の高い講座や講演会を開催し、参加者が課題意識を持ち、生涯にわたり学ぶ力を身に付ける場を提供する。		館独自の企画立案による手作りの特別展のほか、関連団体からの人材派遣や展示物の借用、テーマに精通した業者への委託等を活用し、特別展などを開催する。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	国立科学博物館、株式会社ロッテ他、多くの関係機関と連携し、特別展「チョコレート」を開催した。また、錯覚をテーマに体験型の特別展「せっかく来たからさっかく見ていく?」を開催した。「サイエンスまつり」では、科学館開館20周年記念として、市内小中学校に協力を依頼し、未来の科学館をテーマに絵画展を行った。		前期特別展「チョコレート」は専門的展示物を揃え、親しみあるお菓子をテーマにしたことで多くの来館者の興味に繋がった。後期特別展「せっかく来たからさっかく見ていく?」では見え方の不思議やわかっていても錯覚を起こしてしまう展示で来館者の科学的な関心が高まった。学校との連携でもより多くの児童生徒が科学館を身近に感じてもらった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	特別展等入場者数				指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度目標値29,647人に向けて設定					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		28,488.00		28,774.00		29,062.00		29,353.00		29,647.00		
実績値・達成状況	25,315.00	未達成	26,534.00	未達成	31,124.00	達成						
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
実績値・達成状況												

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	10 款	6 項	9 目	2 細目	4 細々目	特別企画事業費	
年度		令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		7,056	6,962		7,792		7,822		7,822
決算額(B)=(C)+(D)		6,743	6,841		7,625				
財源※	特定財源(C)	421	0		0		500		
	一般財源(D)	6,322	6,841		7,625		7,322		
概算人件費(E)		7,268	7,623		7,663		6,642		6,642
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.92	0.00	0.99	0.00	0.97	0.00
				0.92	0.00	0.99	0.00	0.97	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		14,011	14,464		15,288		14,464		14,464

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	今後も利用者の関心が高いテーマを解説する特別展を実施するため、十分な情報収集と準備期間が不可欠となる。そのため、関心が高いテーマ選定と他館との協力や視察、職員の研修等、計画的に事業を進めることが必要となる。また、対象者への周知についても学校や商業施設を通じて積極的に広報活動を進めていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付事				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等	川口市オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	JOC強化指定選手又は、加盟団体強化指定選手 JPC強化指定選手又は、加盟団体強化指定選手 埼玉県「スポーツ科学を活用したトップアスリート輩出・支援事業『彩の国ブラチナアスリート』」強化指定選手		同左のうち、市内在住者、市内在勤者、市内在学者、過去に市内に居住しかつて学んでいた者。	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	オリンピック・パラリンピック強化指定選手に激励金を交付することにより大会出場に向けた競技力の向上を図るとともに、本市におけるスポーツ振興及びオリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成を図ることを目的とする。		オリンピック・パラリンピックに出場・活躍が期待される強化指定選手に対し、競技活動を奨励するため、各対象者に年度10万円を限度として激励金を交付するもの	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	オリンピック・パラリンピックに出場・活躍が期待される強化指定選手に対し、競技活動を奨励するため、各対象者に年度10万円を限度として激励金を交付した。		優秀な選手に対し、競技活動を支援するとともに、本市におけるスポーツ振興及びオリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成に良い影響を与えた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	3 細目	7 細々目	オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		2,000		1,500		1,500		1,500		1,500
決算額(B)=(C)+(D)		1,200		843		1,100				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,200		843		1,100		1,500		
概算人件費(E)		632		462		553		567		567
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.08	0.00	0.06	0.00	0.07	0.00	0.07
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		1,832		1,305		1,653		2,067		2,067

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	より効果的な、支援額や支援枠の設定について検討していく必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	体育施設維持補修費				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託			
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)			
	体育施設			施設利用者及び地域住民			
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	施設管理運営に必要な施設の維持補修を行う。			安全・安心に施設利用ができるよう、維持補修を図る。			
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】			
	老朽化した体育施設を維持するための修繕及び補修工事			老朽化した体育施設を維持するための修繕及び補修工事を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	2 目	1 細目	2 細々目	体育施設維持補修費	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		66,539		63,257		58,046		56,733		56,733
決算額(B)=(C)+(D)		66,332		56,417		54,296				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		2,000		
	一般財源(D)	66,332		56,417		54,296		54,733		
概算人件費(E)		8,295		2,695		2,370		4,455		4,455
従事職員人数(人)		常勤	再任用	1.05	0.00	0.35	0.00	0.30	0.00	0.55 0.00 0.55 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		74,627		59,112		56,666		61,188		61,188

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	経年劣化が進んでいる中、施設を維持するための修繕及び補修工事を行う必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、施設の維持補修を行っていく必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	体育施設整備費				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託			
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)			
	体育施設			施設利用者及び地域住民			
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	施設管理運営に必要な施設整備を行う。			安全・安心に施設利用ができるよう、より一層の施設整備を図る。			
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】			
	老朽化した体育施設の改修及び補修工事			老朽化した体育施設の施設整備を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	2 目	1 細目	3 細々目	体育施設整備費	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		116,091		244,991		275,933		476,240		476,240
決算額(B)=(C)+(D)		111,324		219,034		209,456				
財源※	特定財源(C)	35,300		144,900		0		466,700		
	一般財源(D)	76,024		74,134		209,456		9,540		
概算人件費(E)		2,449		3,465		3,160		2,835		2,835
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.31	0.00	0.45	0.00	0.40	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		113,773		222,499		212,616		479,075		479,075

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	経年劣化が進んでいる中、施設の設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期に施設整備を行う必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	スポーツ推進審議会事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等	川口市スポーツ推進審議会条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ推進審議会委員		市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	スポーツの推進に関する事項について調査審議する。		年2回程度会議を開催。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	第1回川口市スポーツ推進審議会(令和5年7月27日) 第2回川口市スポーツ推進審議会(令和6年2月7日)		スポーツの推進に関する事項について調査審議することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	2 細目	1 細々目	スポーツ推進審議会事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	194	224		194		208		208		
決算額(B)=(C)+(D)	168	223		177						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	168		177		208				
概算人件費(E)		1,185		770		1,580		2,025		2,025
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.10	0.00	0.20	0.00	0.25	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		1,353		993		1,757		2,233		2,233

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	川口市のスポーツの推進及び振興のため調査・審議し、スポーツ行政に反映していく必要がある。 また、神根運動場等整備について、市民ニーズに基づいた審議を行う。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	中学校・高等学校運動指導者派遣事業				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	13	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	川口市立中学校・高等学校運動部活動指導者派遣事業実施要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	中学校・高等学校の運動部		中学校・高等学校の運動部員	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	川口市立中学校・高等学校運動部活動の充実を図るために、教育に対する理解と専門的な技術指導力を備えた指導者を、地域住民の中から協力者として支援できるようにする。		指導者は、各学校の運動部活動における技術指導への協力と援助を行う。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	指導者は、各学校の運動部活動における技術指導への協力と援助を行った。		専門的な技術を備えた指導者を派遣することにより、市内中学校・高等学校の運動部活動の充実・活性化が図られた。また、指導を受けた生徒の部活動に対する意欲が高まり、競技力の向上が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指導者派遣数			指標・目標値の説明(算定式)	中学校・高等学校に派遣した指導者数 中学校27人、高等学校2人、計29人				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		29.00		29.00		39.00		0.00		0.00
	実績値・達成状況	23.00	未達成	29.00	達成	32.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	2 細目	2 細々目	中学校・高等学校運動指導者派遣事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	2,090	2,090		2,420		2,523		2,523		
決算額(B)=(C)+(D)	1,286	1,593		1,774						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	1,286		1,774		2,523				
概算人件費(E)		632		539		553		567		567
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.08	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		1,918		2,132		2,327		3,090		3,090

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	学校、指導者のニーズを把握し、どちらにとっても活用しやすい事業として実施していく必要がある。 部活動の地域移行とも関連付けて検討していく必要がある。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	各種体育大会開催事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等	各大会開催要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	各種体育大会		児童・生徒	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	児童・生徒の健全育成を目的に、スポーツ活動をととして児童・生徒の心身の健康づくりと児童相互の親睦を図る。		少年少女スポーツ大会(柔道・剣道) 少年少女ふれあいなわとび大会 中学校駅伝競走	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	少年少女スポーツ大会(柔道・剣道) 少年少女ふれあいなわとび大会 中学校駅伝競走		スポーツ大会を通じて技量の向上が図られるとともに、児童・生徒の体力の向上が図られた。また、大会に向けて練習に粘り強く取り組むなど、精神面の成長が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	少年少女ふれあいなわとび大会参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	市内小学校52校×1校平均55人×2回=5,720人				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		5,720.00		5,720.00		5,720.00		0.00		0.00
	実績値・達成状況	26,552.00	達成	23,032.00	達成	21,466.00	達成			
指標②	名称	少年少女スポーツ大会参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	市内小学生対象の柔道クラブ7団体、剣道クラブ19団体 合計26団体×1団体約13人=338人				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		338.00		338.00		338.00		0.00		0.00
	実績値・達成状況	192.00	未達成	207.00	未達成	431.00	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	2 細目	3 細々目	各種体育大会開催事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		465		448		494		501		501
決算額(B)=(C)+(D)		296		339		393				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	296		339		393		501		
概算人件費(E)		2,765		2,310		2,370		2,430		2,430
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.35	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		3,061		2,649		2,763		2,931		2,931

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	施設規模に応じた大会方法の立案の検討も必要である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	体育関係表彰事業				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	川口市体育賞表彰要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	スポーツ活動において功労のあった者及び活躍した選手		受賞者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	長年にわたりスポーツ活動において功労のあった者及び年間を通じて活躍した選手または団体に対し、市または教育委員会が表彰する。		・川口市体育三賞授与式・会場借上げ・看板製作委託	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	川口市体育三賞授与式(令和6年1月26日:川口リリア音楽ホール)を開催。		大会において優秀な成績を収めたアスリートを表彰できた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	2 細目	4 細々目	体育関係表彰事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度			
予算額(A)	601	686		709		727	727			
決算額(B)=(C)+(D)	329	644		621						
財源※	特定財源(C)	0	0		0	0				
	一般財源(D)	329	644		621	727				
概算人件費(E)		2,765	2,926		2,844	2,916	2,916			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.35	0.00	0.38	0.00	0.36	0.00	0.36	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		3,094	3,570		3,465	3,643	3,643			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	低かった	11 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
50 ／60	多くの競技団体が全国大会を実施する中で、大会規模や参加者の参加資格などにより、真に表彰にふさわしい大会が精選する必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	ツーデーマーチ実行委員会交付金			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	19	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	ツーデーマーチ実行委員会交付金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	ツーデーマーチ実行委員会		ツーデーマーチ参加者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	体力低下が社会問題となっていることから、補助金を交付することで、事業の推進を図る。		大会を企画運営し、市内外からのウォーカーにウォーキングの場を提供する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	令和5年9月16日・17日に第16回川口ツーデーマーチを実施した。		1日目1,023人、2日目1,199人、2日間合計2,222人の参加者のもと、開催した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	2 細目	5 細々目	ツーデーマーチ実行委員会交付金	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		250		1,978		1,978		1,978		1,978
決算額(B)=(C)+(D)		250		1,978		1,978				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	250		1,978		1,978		1,978		
概算人件費(E)		6,960		4,620		4,740		4,860		4,860
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.60	0.60	0.60	0.00	0.60	0.00	0.60
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		7,210		6,598		6,718		6,838		6,838

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
52 ／60	参加者が減少していることから、広報活動を充実させる必要がある。参加者のニーズにあったコース設定など参加者にとって魅力的な大会にしていける必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	学校体育協会事業				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	スポーツ基本法／学校体育奨励交付金要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	川口市学校体育協会		・市立小・中・高等学校の児童・生徒		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市立小・中・高等学校教育の一環として、児童・生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な児童・生徒を育成するとともに、生涯スポーツの基礎づくりに寄与する。		・小、中、高校水泳記録会 ・中学校通信陸上競技大会 ・小・中学校体育授業研究協議会 ・学校総合体育大会 ・市民体育祭(中学校の部) ・中学校交歓大会 ・体育実技伝達講習会 の一部を助成する。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	・小、中、高校水泳記録会 ・中学校通信陸上競技大会 ・小・中学校体育授業研究協議会 ・学校総合体育大会 ・市民体育祭(中学校の部) ・中学校交歓大会 ・体育実技伝達講習会 の一部を助成した。		・中学校体育大会の開催により、他校の選手と競い合うことで競技力の向上が図られた。 ・指導者の資質・向上を図ることで、児童・生徒のスポーツに親しむ資質・能力の向上が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	3 細目	1 細々目	学校体育協会事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		2,323		2,823		2,823		2,823		2,823
決算額(B)=(C)+(D)		2,323		2,823		2,823				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	2,323		2,823		2,823		2,823		
概算人件費(E)		5,293		6,160		5,056		5,184		5,184
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.67	0.00	0.80	0.00	0.64	0.00	0.64 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,616		8,983		7,879		8,007		8,007

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	大会運営を行う教職員の負担軽減策の立案。 学校現場を取り巻く環境を考慮した大会運営案の検討。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	スポーツ協会事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	63	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	スポーツ協会事業交付金要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	(公財)川口市スポーツ協会		市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	スポーツの功績を表彰し榮譽を讃え、活力と向上精神を刺激することで、スポーツの普及発展につなげる。 また、川口市のスポーツ情勢を幅広く市民に周知し、情報を提供することにより市民のスポーツ参加を促し、スポーツの意識向上を図る。		スポーツ教室及び各種スポーツ事業等の実施や、スポーツに関する講演会の実施などで人材育成を行う。 また、スポーツ功労者及び優秀選手の表彰などで、より一層の活気を見だし、更には広報誌の発刊及びその他の広報活動でスポーツの普及を行っている事業の一部を助成する。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	川口マラソン、スポーツ教室、各種スポーツ大会、スポーツに関する講演会、スポーツ功労者及び優秀選手の表彰、広報誌の発刊などの事業費の一部を助成した。		スポーツ競技力の向上やスポーツへの取組み意欲の向上が市民の活気ある生活への後押しとなった。また、スポーツ表彰により、一層スポーツに対する活力と向上精神を刺激するものであり、スポーツの普及発展につながった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	3 細目	2 細々目	スポーツ協会事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		61,222		61,012		61,064		61,064		61,064
決算額(B)=(C)+(D)		41,921		53,312		61,063				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	41,921		53,312		61,063		61,064		
概算人件費(E)		2,370		2,310		3,002		3,078		3,078
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.38	0.00	0.38 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	44,291		55,622		64,065		64,142		64,142

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	「補助金等のあり方に関する方針」に沿って、交付目的達成のための必要性を審査しながら、交付を行う必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	スポーツ推進委員協議会事業				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	13	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	スポーツ基本法第32条2項(スポーツ振興法改正 平成23年8月24日施行) / スポーツ推進委員協議会事業交付金要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ推進委員協議会		市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	ニュースポーツを広めるなど、スポーツ全般的な推進につながるよう交付を行っているもの。		スポーツ推進委員協議会の事業費(講習会・研修会・印刷・調査研究・大会・表彰・負担金・保険等)に対し助成を行うもの。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	スポーツ推進委員協議会の事業費(講習会・研修会・印刷・調査研究・大会・表彰・負担金・保険等)に対し助成を行った。		市民の求めに応じてスポーツの実技や指導を行い、積極的に地域の大会やイベントにも関わることにより、市民スポーツの推進に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	常任理事会開催回数				指標・目標値の説明(算定式)	年間の事業に関する話し合いや、活動の報告を通じて、協議会の事業を向上させるための会議である。 他の事業の兼ね合いから、年間5回の開催が妥当である。					
	単位	回	指標の種別	活動								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		5.00		5.00		5.00		5.00		0.00		
	実績値・達成状況	4.00	未達成	5.00	達成	5.00	達成					
指標②	名称	スポーツ推進委員数				指標・目標値の説明(算定式)	当市における定数314人					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		314.00		314.00		314.00		314.00		0.00		
	実績値・達成状況	290.00	未達成	292.00	未達成	284.00	未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	3 細目	3 細々目	スポーツ推進委員協議会事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		12,712		12,924		12,727		12,748		12,748
決算額(B)=(C)+(D)		10,933		11,494		11,443				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	10,933		11,494		11,443		12,748		
概算人件費(E)		4,740		5,005		4,977		5,103		5,103
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.60	0.00	0.65	0.00	0.63	0.00	0.63 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	15,673		16,499		16,420		17,851		17,851

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	スポーツ推進委員の活動は、地区ごとの特色が強く、統一的な活動状況の確保は困難である。しかしながら、今後においては各地区間の情報交換を図るとともに委員の質を高め、様々なニーズに対応しながら事業を継続的にやっていく必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	レクリエーション協会事業				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	レクリエーション協会事業交付金要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	川口市レクリエーション協会		市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	レクリエーション協会として事業を行うことにより、市民の健康増進と体力向上に寄与する。		・少年少女グラウンド・ゴルフ体験講習会 ・市民体育祭(地区・ブロック・中央・一般・中学校) ・市民レクリエーション祭 ・各種大会沿道警備 ・各種会議、表彰 の一部を助成する。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	・少年少女グラウンド・ゴルフ体験講習会 ・市民体育祭(地区・ブロック・中央・一般・中学校) ・市民レクリエーション祭 ・各種大会沿道警備 ・各種会議、表彰 の一部を助成した。		様々な事業を通じて、市民の健康増進と体力向上に寄与することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	3 細目	4 細々目	レクリエーション協会事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		3,878		3,845		3,878		3,911		3,911
決算額(B)=(C)+(D)		2,205		3,845		3,878				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	2,205		3,845		3,878		3,911		
概算人件費(E)		4,898		4,697		4,977		5,103		5,103
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.62	0.00	0.61	0.00	0.63	0.00	0.63	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		7,103		8,542		8,855		9,014		9,014

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	「補助金等のあり方に関する方針」に沿って、交付目的達成のための必要性を審査しながら、交付を行う必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	スポーツ少年団事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等	スポーツ少年団事業交付金要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ少年団	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	発育発達途上にある少年少女を対象に、心と身体の健全育成とスポーツ活動を通じて立派な社会人に育てることを目的とした事業であるため、支援が必要である。	大会・・・スーパードッジボール大会、駅伝大会 講習会・・・救命講習会、スタートコーチ養成講習会 派遣費・・・各種大会派遣費、現地研修会費等、母集団研修会 会議費・・・総会、本部員会議、指導者協議会 事務費・・・通信費、需用費 の一部を助成する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	大会・・・スーパードッジボール大会、駅伝大会 講習会・・・救命講習会、スタートコーチ養成講習会、母集団 研修会 派遣費・・・各種大会派遣費、現地研修会費等 会議費・・・総会、本部員会議、指導者協議会 事務費・・・通信費、需用費 の一部を助成した。	各種大会により、団員の競技力・体力の向上はもとより、活動を通した 自主性の育成が図られた。また、救命講習会や各種会議を通して指 導者・保護者の資質向上が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標 ①	名称					指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	実績値・達成状況											
指標 ②	名称					指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	3 細目	5 細々目	スポーツ少年団事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	1,200	1,200		1,200		1,200		1,200		
決算額(B)=(C)+(D)	1,200	1,200		1,200						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	1,200		1,200		1,200				
概算人件費(E)		5,293		4,928		4,977		5,103		5,103
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.67	0.00	0.64	0.00	0.63	0.00	0.63	0.00
	再任用									
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		6,493		6,128		6,177		6,303		6,303

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	スポーツ少年団の活動は競技スポーツばかりでなく、発育発達段階を考慮したスポーツ活動のほか、学習活動・レクリエーション活動・社会活動・文化活動など、幅広く捉えているということを関係者によく理解してもらう。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	スポーツ推進補助事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	社会体育奨励交付金交付要綱／県代表選手派遣交付金交付基準／川口市スポーツ・レクリエーション傷害見舞金に関する規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・公民館地区レクリエーション協会(33団体)市在住在勤の方 ・全国大会等の派遣選手(団体または個人) ・スポーツやレクリエーション活動中に傷害を受けた市内に住 所を有する方及び在勤・在学の方	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民のスポーツ活動、生涯スポーツ活動、競技スポーツ活動 の普及を図り、活動する市民へ負担を軽減するため支援する もの。	・各公民館地区におけるスポーツ事業実施のための交付金 ・全国大会等に出場する選手に対しての派遣交付金 ・各種スポーツにおいて怪我をした場合の傷害見舞金の交付	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・各公民館地区におけるスポーツ事業実施のための交付金 ・全国大会等に出場する選手に対しての派遣交付金 ・各種スポーツにおいて怪我をした場合の傷害見舞金の交付	地域の大会等でスポーツを通じた地域コミュニティの活性化が図られ た。県を代表して出場する選手の経費負担が図られた。スポーツレクリ エーション等に安心して参加してもらうことができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標 ①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度	令和4年度		令和5年度	令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況								
指標 ②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度	令和4年度		令和5年度	令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	3 細目	6 細々目	スポーツ推進補助事業	
年度		令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		15,927	15,927		15,927		16,927		16,927
決算額(B)=(C)+(D)		14,117	15,557		15,823				
財 源 ※	特定財源(C)	0	0		0		0		
	一般財源(D)	14,117	15,557		15,823		16,927		
概算人件費(E)		1,185	1,001		1,185		1,215		1,215
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.15	0.00	0.13	0.00	0.15	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		15,302	16,558		17,008		18,142		18,142

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必 要 性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効 率 性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有 効 性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公 平 性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 ／60	全国大会等の派遣選手への交付金については、「補助金等のあり方に関する方針」に沿って、 継続的にあり方を検討する必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7657	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	21	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	川口市体育施設設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	青木町公園総合運動場・体育武道センターを運営する事業者		施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	専門性の高い競技施設として機能し、県・関東・全国規模の大会会場として使用しており、各競技団体等との連携を図りながら円滑な施設運営を行い、市民の健康体力づくりにおけるスポーツの推進を行うもの。		専門性の高い施設として効率的に運営を行うことができる指定管理者による管理・運営で、競技力の向上や一般市民へのスポーツ活動の場を提供し普及を行うもの。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	指定管理者制度を活用し、(公財)川口市スポーツ協会に施設全般の管理運営業務等を委託した。		川口市のスポーツ拠点施設としての運営ができることや、専門的分野の技術力向上及び市民へのスポーツの推進に貢献した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	施設利用者数(青木町公園総合運動場・体育武道センター)		指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画基本計画におけるスポーツ施設全体の目標値を達成するために必要な前年度目標値の1.5%増とした。				
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		463,360.00		470,709.00		478,057.00		485,406.00	
	実績値・達成状況	348,674.00	未達成	401,103.00	未達成	432,421.00	未達成		
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	2 目	1 細目	4 細々目	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		160,715		164,449		160,715		199,942		199,942
決算額(B)=(C)+(D)		160,714		164,448		160,714				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	160,714		164,448		160,714		199,942		
概算人件費(E)		2,449		3,311		3,160		3,240		3,240
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.31	0.00	0.43	0.00	0.40	0.00	0.40
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		163,163		167,759		163,874		203,182		203,182

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	青木町公園総合運動場は、公園内の施設であり、公園所管課との管理区分に不明確な部分が存在する。公園所管課と管理区分について整理していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7657	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	20	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	川口市体育施設設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	戸塚スポーツセンターを運営する事業者		施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	民間ノウハウを活用し、質の高いサービスを提供するとともにコスト削減を図り、市民の健康体力づくりにおけるスポーツの推進を行うもの。		専門性の高い施設として効率的に運営を行うことができる指定管理者による管理・運営で、競技力の向上や一般市民へのスポーツ活動の場を提供し普及を行うもの。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	指定管理者制度を活用し、スポーツで輝く 川口戸塚まちづくりパートナーズに施設全般の管理運営業務等を委託した。		川口市のスポーツ拠点施設として運営ができることや、専門的分野の技術力向上及び市民へのスポーツの推進に貢献した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	施設利用人数			指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画基本計画におけるスポーツ施設全体の目標値を達成するために必要な前年度目標値の1.5%増とした。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		477,285.00		484,855.00		492,425.00		499,995.00		507,564.00
	実績値・達成状況	268,631.00	未達成	320,652.00	未達成	298,322.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	2 目	1 細目	5 細々目	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	140,406	140,406		176,000		176,000		176,000		
決算額(B)=(C)+(D)	140,406	140,406		164,823						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	140,406		140,406		164,823		176,000		
概算人件費(E)		2,449		3,311		3,160		3,240		3,240
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.31	0.00	0.43	0.00	0.40	0.00	0.40 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	142,855		143,717		167,983		179,240		179,240

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	開所から10年以上が経過し、設備や備品の故障が相次いでいる。指定管理者と情報共有を密にし、計画的に改善、更新を行っていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	スポーツ教室開催事業費				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	45	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	川口市スポーツ教室等開催要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	スポーツ教室		スポーツ教室受講者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	教室を開催することで、初心者の方や向上心のある方が気軽にスポーツに参加でき、更にはスポーツの楽しさを知ってもらうことや、心身の成長に貢献することが目的である。		ピラティス教室・ヨガ教室・水泳教室・シニアエイジ健康運動教室等を各スポーツセンターにおいて開催するもの。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	ピラティス教室・ヨガ教室・水泳教室・シニアエイジ健康運動教室等を各スポーツセンターにおいて開催した。		教室においては、主に30歳代から70歳代まで幅広い年齢層の参加により開催することができ、スポーツの楽しさや、世代間交流及び健康増進への意欲向上につなげるなど、市民のスポーツ振興に貢献することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	教室開催回数				指標・目標値の説明(算定式)	施設を活かしたスポーツ教室を開催するものであり、予算の編成時にその情勢を鑑みて設定しているものである。(実績回数／開催回数(目標回数))								
	単位	回	指標の種別	活動											
	目標値	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度	
		12.00			11.00			12.00			12.00			0.00	
		実績値・達成状況		12.00	達成	11.00		達成	12.00	達成					
指標②	名称	教室参加者数				指標・目標値の説明(算定式)	スポーツ教室の「実績回数／開催回数(目標回数)」								
	単位	人	指標の種別	結果											
	目標値	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度	
		2,140.00			2,040.00			2,020.00			2,020.00			0.00	
		実績値・達成状況		1,110.00	未達成	1,495.00		未達成	1,566.00	未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	2 目	2 細目	1 細々目	スポーツ教室開催事業費		
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		1,189		1,247		1,351		1,203		1,203	
決算額(B)=(C)+(D)		1,158		1,222		1,336					
財源※	特定財源(C)	733		1,118		0		1,203			
	一般財源(D)	425		104		1,336		0			
概算人件費(E)		553		616		1,106		1,134		1,134	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.07	0.00	0.08	0.00	0.14	0.00	0.14	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,711		1,838		2,442		2,337		2,337	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	各スポーツ施設の状況により事業内容や実施件数が異なることから、今後も施設の特性を活かしながら開催について検討が必要である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	総合文化センター指定管理者管理運営費				担当	市民生活部
						文化推進室
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	258-1116,14502	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口総合文化センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公益財団法人川口総合文化センター	施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	芸術文化の振興とコミュニティの促進を図り、もって豊かな市民生活の形成と地域社会の発展に寄与することを目的とする。	- 川口総合文化センターの施設管理 - 地域に対する文化芸術の振興	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	指定管理制度のもと、公益財団法人川口総合文化センターに管理運営を委託した。川口総合文化センター・リリアについては、令和6年3月1日から約2年間改修工事のため、全館休館。	事故等の問題もなく運営ができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	22 目	1 細目	1 細々目	総合文化センター指定管理者管理運営費			
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)		519,600		594,100		627,072		194,103		682,825		
決算額(B)=(C)+(D)		519,600		579,400		627,072						
財 源 ※	特定財源(C)	60,579		0		70,726		0				
	一般財源(D)	459,021		579,400		556,346		194,103				
概算人件費(E)		2,054		2,002		2,054		6,723		6,723		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.26	0.00	0.26	0.00	0.32	0.00	0.83	0.00	0.83	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		521,654		581,402		629,126		200,826		689,548		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 ／60	なし	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	アートギャラリー指定管理者管理運営費				担当	市民生活部 文化推進室	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	258-1116,14503	新規・継続	新規	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 5 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市立アートギャラリー設置及び管理条例、川口市立アートギャラリー管理規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市立アートギャラリー・アトリア	施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	身近にアートに触れることのできる施設であるアートギャラリーを、指定管理者の運営による民間活力を導入し、より効率的で効果的な施設運営を行うことで、さらに市民が芸術に触れる機会を増やし、新たな市民ニーズに対応するもの。	・川口市立アートギャラリー・アトリアの施設管理	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	指定管理者制度のもと、株式会社21世紀文化芸術研究室に管理運営を委託した。	事故等の問題もなく運営ができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	アートギャラリー・アトリアにおける来場者数				指標・目標値の説明(算定式)	前年度実績値を上回る数					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		—		—		0.00		40,492.00		0.00		
	実績値・達成状況	—	—	—	—	40,491.00	達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	33 目	1 細目	3 細々目	アートギャラリー指定管理者管理運営費			
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)		0		0		63,900		59,000		59,000		
決算額(B)=(C)+(D)		0		0		63,319						
財源※	特定財源(C)	0		0		10,501		82				
	一般財源(D)	0		0		52,818		58,918				
概算人件費(E)		0		0		2,449		6,723		6,723		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.31	0.00	0.83	0.00	0.83	
総事業費[(A)又は(B)]+(E)		0		0		65,768		65,723		65,723		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	なし	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	市民コンサート事業				担当	市民生活部 文化推進室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1116,14503	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 10 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び交流市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	広く市民が多様な音楽に触れ、音楽を楽しむ機会を設けることにより、本市の音楽文化のさらなる発展・向上に繋げることを目的とする。	市の施設を活用し、多様なジャンルの音楽を鑑賞する機会を提供するとともに、アーティスト登録制度に登録する若手アーティストの活動の場を提供する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・「市民コンサート」開催日 令和6年2月18日(日) 会場 安行公民館 出演者デュオ・ビジョン、小川奈緒・浦田由里子 内容フルート・ピアノ、クラリネット・ピアノ ・「ロビーコンサート」開催日 令和6年3月26日(火) 会場 川口市役所第一本庁舎1階多目的スペース 出演者Pokke 内容ヴォーカルデュオ	「市民コンサート」は120席の用意に対して、来場者が209人となり、89席を増設対応するほどの大盛況であった。アンケートにおいても、また聴きたいという意見を数多くいただいた。「ロビーコンサート」は来場者が99人と盛況で、コンサートに対する市民のニーズが高いことがうかがえた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	市民コンサートへの入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度実績値の110%				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		0.00		88.00		220.00		229.90		0.00
	実績値・達成状況	80.00	—	200.00	達成	209.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	2 款	1 項	32 目	2 細目	1 細々目	市民コンサート事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	896	1,104		1,064		1,203		1,324		
決算額(B)=(C)+(D)	770	855		707						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	770		855		707		1,203		
概算人件費(E)	2,212	2,156		1,896		1,134		1,134		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	0.28	0.00	0.28	0.00	0.24	0.00	0.14	0.00	0.14 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,982	3,011		2,603		2,337		2,458		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 ／60	川口総合文化センター・リリアの改修工事に伴い、開催場所の確保が課題となるが、来場者数の予想に合わせて開催場所を調整する必要がある。また、市民のニーズに合わせてコンサート内容を検討し、アーティスト発掘支援制度に登録されているアーティストを積極的に活用していきたい。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	文化芸術体験事業				担当	市民生活部 文化推進室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1116,14503	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び交流市民		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	幅広い分野の文化・芸術に関する事業の開催を通して市民が多彩なジャンルの文化・芸術を鑑賞する機会を提供することにより、市民の文化力向上に寄与する。		市内在住の文化・芸術活動を行っている個人・団体等を講師とし、小・中・高校生の生徒を対象とした文化・芸術活動(特に伝統文化・伝統芸能)の体験ワークショップを行い、発表の場を提供する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・令和5年12月16日(土)にリリアにて「子ども茶道教室」を開催。当日参加者37名、観覧者41名。		「子ども茶道教室」は40名の定員に対して、70名の応募があった。当日は、体調不良で3名欠席し、小学1年生から中学1年生まで37名の参加となった。茶道教室を通して、普段触れることの少ない文化芸術を体験することにより、様々な伝統文化の良さや味わいを感じ、関心を持ってもらうという目的に適した事業ができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	発表会への観覧者数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度開催1日間観覧者数×1.1							
	単位	人	指標の種別	結果									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
		0.00		0.00		35.00		45.10		0.00			
		実績値・達成状況		0.00		32.00		達成		41.00		達成	
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)								
	単位		指標の種別										
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
		実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	32 目	2 細目	2 細々目	文化芸術体験事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		232		318		350		309		340
決算額(B)=(C)+(D)		0		182		294				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	0		182		294		309		
概算人件費(E)		0		2,464		316		324		324
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.32	0.00	0.04	0.00	0.04
				0.00	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00	0.04
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0		2,646		610		633		664

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	前回は初午太鼓、今回は茶道教室を開催したが、今後は様々な文化芸術に関する事業を体験してもらうため、文化芸術団体及び個人の指導者に働きかけ、広い分野において協力者を得ることが必要である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	芸術賞賞賜事業			担当	市民生活部 文化推進室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1116,14503	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	62	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画、各種表彰規程					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化芸術に携わる市民全般		文化芸術に携わる市民全般	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	長年にわたり本市の文化・芸術振興に貢献した方の功労を顕彰し、将来を嘱望される方の奨励を行うことにより、市民文化の向上・発展に寄与するもの。		市民文化の向上・発展に貢献された方を対象とする「川口市文化賞」「芸術功労賞」「芸術奨励賞」、青少年を対象とした「青少年文化活動奨励賞」の表彰を行うもので、被表彰者を公募、選考会議における候補者の選考を経て市長が決定し表彰を行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・令和5年11月3日(金・祝)川口駅前市民ホールフレンディアにて文化三賞表彰式、青少年文化活動奨励賞表彰式を開催。「川口市文化賞」「芸術功労賞」「芸術奨励賞」「青少年文化活動奨励賞」を授与。 ・文化賞受賞者永井宗美氏による記録展を同時開催。		受賞者の文化芸術に関する功績や活動の業績を顕彰することにより、本市の文化力の向上を喚起する推進力へと繋がった。 表彰式は、子どもから大人まで幅広い世代が参加した。また、会場内で文化賞受賞者記録展を開催することで、一般の参加者が多数来場した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	表彰式入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	前年の入場者数×1.1(前年比10%増)				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		22.00		220.00		220.00		123.20		0.00
	実績値・達成状況	200.00	達成	200.00	未達成	112.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計			2 款	1 項	32 目	2 細目	3 細々目	芸術賞賞賜事業	
年度		令和3年度			令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度
予算額(A)		1,238			1,173			1,120		1,245	1,370
決算額(B)=(C)+(D)		911			897			937			
財源※	特定財源(C)	0			0			937		0	
	一般財源(D)	911			897			0		1,245	
概算人件費(E)		2,054			2,156			1,580		1,620	1,620
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.26	0.00	0.28	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,965			3,053			2,517		2,865	2,990

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	表彰により個人や団体の活動が広がり、盛んになると考えることから、積極的に受賞候補者を推薦してもらえるよう関係団体等へさらに働きかけていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	文化振興交付事業				担当	市民生活部	
						文化推進室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1116,14504	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	52	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市文化振興基金条例、各種交付要綱、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	文化芸術活動を行う市内の個人や団体		同左及び文化芸術を享受する市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市民の自主的な文化事業や創造的な文化芸術活動を積極的に支援することにより、文化芸術の振興を図り、市民の誰もが「ゆとりと潤い」を実感できる心豊かな市民生活の実現に役立てる。		文化芸術活動を行う市内の個人や団体を助成金・交付金によって支援する。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	・市内で文化活動を行う個人・団体を対象に助成事業の公募を行い、選考を経て4件を採択。うち1件は、事業内容を見直した結果辞退となり、3件へ助成金を交付。 ・青少年ピアノコンクール実行委員会、初午太鼓コンクール、美術展実行委員会、文化祭実行委員会へ交付金を交付。		市民の自主的な文化事業や創造的な芸術活動を財政的に支援することにより、活動の継承に寄与し市民の文化芸術に参加や鑑賞する機会を提供した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化振興助成金の交付要望件数				指標・目標値の説明(算定式)	前年度の交付要望件数＋1件					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		8.00		5.00		11.00		5.00		0.00		
	実績値・達成状況	4.00	未達成	10.00	達成	4.00	未達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	32 目	2 細目	4 細々目	文化振興交付事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		12,042		13,748		12,836		12,889		12,889
決算額(B)=(C)+(D)		11,834		13,424		11,385				
財源※	特定財源(C)	945		2,535		11,385		0		
	一般財源(D)	10,889		10,889		0		12,889		
概算人件費(E)		10,349		10,549		10,981		12,150		12,150
従事職員人数(人)		常勤	再任用	1.31	0.00	1.37	0.00	1.39	0.00	1.50 0.00 1.50 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		22,183		23,973		22,366		25,039		25,039

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	川口市文化振興助成事業や、その他助成制度(国・県・財団等)について関係文化団体や個人へと広く周知することに注力し、財政面において支援していくことにより、その文化活動の継続と活性化の一助となることを目指す。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	文化団体補助事業				担当	市民生活部 文化推進室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1116,14503	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	50	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市文化団体連合会補助金交付要綱、川口市民音楽協会補助金交付要綱、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市文化団体連合会、川口市民音楽協会		同左及び文化団体の活動を体験する、鑑賞する市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市内における文化芸術活動を担う団体への支援を行うことで、各種文化活動の促進、市民文化の高揚を図る。		川口市文化団体連合会が行う文化活動の啓発等に関わる事業費や市民音楽協会加盟団体への活動支援のため、補助金を交付する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	川口市文化団体連合会及び川口市民音楽協会へ補助金の交付を行った。		補助金により、川口市文化団体連合会及び川口市民音楽協会への活動支援を行えた。新型コロナウイルスの5類移行に伴い、昨年度より積極的に活動に取り組む団体が増えた。市民の自主的な文化芸術活動の振興や、それに携わる人材の育成及び交流を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化団体連合会加盟団体数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度の団体数の維持。				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		116.00		116.00		103.00		107.00		0.00
	実績値・達成状況	116.00	未達成	103.00	達成	107.00	達成			
指標②	名称	川口市民音楽協会加盟団体数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度の団体数の維持。				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		77.00		77.00		74.00		73.00		0.00
	実績値・達成状況	77.00	達成	74.00	未達成	73.00	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	32 目	3 細目	1 細々目	文化団体補助事業			
年度		令和3年度		令和4年度			令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		1,900		1,900			1,900		1,900		1,900	
決算額(B)=(C)+(D)		1,900		1,900			1,900					
財源※	特定財源(C)	0		0			1,900		0			
	一般財源(D)	1,900		1,900			0		1,900			
概算人件費(E)		1,027		1,232			711		810		810	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.13	0.00	0.16	0.00	0.09	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		2,927		3,132			2,611		2,710		2,710	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	文化団体活動を担う若い世代の獲得が課題である。団体への新規加入を目指し、団体のホームページの拡充など活動の周知を図る必要がある。引き続き、団体への情報提供や支援を行い、市内の文化芸術団体の活動を促進したい。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施